

# コンピュータ演習 第12回

今回から第15回までの授業では、「総合的な演習」に取り組みます。

|      |                     |
|------|---------------------|
| 第12回 | 映像的なプレゼンテーションの作成(1) |
| 第13回 | 映像的なプレゼンテーションの作成(2) |
| 第14回 | プレゼンテーションの相互評価      |
| 第15回 | 相互評価の結果の集計、まとめ      |

今回と次回で、映像的なプレゼンテーションを制作します。

- プレゼンテーションソフトを使って、映像作品を作成しましょう。
- 「情報倫理」を題材に、ストーリー性のある内容で、注意をうながすことを目的にします。
- 「リハーサル機能」を使って、スライドを自動的に再生しましょう。

## 連絡事項

授業では、eラーニングのシステムを利用します。出席の確認や、課題の提出などに利用します。

- アドレス: <http://elearn.humans.hyogo-dai.ac.jp/moodle/>
- 自宅からでもアクセス可能です

## 今回の内容

### 1. 情報倫理の概説

- 情報モラルについて
- プレゼンテーションのテーマの選択

## 今回の課題

- 課題: [情報倫理を啓発するプレゼンテーションの作成](#)
  - (1) テーマの決定
  - (2) プレゼンテーションの作成

# 情報倫理の概説

## 情報倫理について

プリントやeラーニング上での資料をもとに、「情報倫理」全般について説明します。次のポイントに注意してください。

- パソコンやインターネットの操作だけが重要ではない
- 利便性と危険性を十分に理解する
- 背景にある仕組みを理解する
- ネット上のコミュニケーションも現実のコミュニケーションと同じ

## プレゼンテーションのテーマの選択

今回と次回（第12回～第13回）の2回分の授業で、情報機器（パソコン、携帯電話、スマートフォン）やインターネットを利用する際の、トラブルや犯罪の危険性を訴える、「啓発」を目的としたプレゼンテーションを作ります。

自分やまわりの人たちの体験、ネット上の資料をもとして、公共広告のテレビCMのような映像作品を制作します。視聴の対象を、高校生から大学生（10代後半～20代前半）とします。

プレゼンテーションで扱う「テーマ」について、下の表から1つだけ選択してください。「関連キーワード」は、テーマに関連する用語や語句で、問題となる現象やその原因などをまとめたものです。

| 番号 | テーマ        | 関連キーワード                                                                         |
|----|------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 個人情報の漏えい   | クレジットカード情報の流出、USBメモリやパソコンの紛失・盗難、携帯電話の機種変更、パソコンの破棄、ファイル共有ソフト、アンケートの回答            |
| 2  | 嫌がらせ・誹謗・中傷 | 荒らし行為、フレーミング、炎上、ネットいじめ、デマ、犯罪予告、匿名性、名誉毀損、業務妨害                                    |
| 3  | 迷惑メール      | ダイレクトメール、スパムメール、チェーンメール、デマメール                                                   |
| 4  | 売買のトラブル    | ネットショッピング、ネットオークション、ネズミ講、違法物品や危険物の販売・出品                                         |
| 5  | コンピュータウィルス | データの改変・消去・流出、システムの機能不全、セキュリティーホールからの侵入、ファイルの偽装、スマートフォンのウィルス、ウィルス対策ソフト、ファイアーウォール |
| 6  | 不正アクセス     | セキュリティーホールの悪用、なりすまし、データの改ざん・消去、システムの破壊                                          |
| 7  | 著作権の侵害     | 文章・音楽・映像・ソフトの違法コピー、キャラクターの無断使用、引用、コピー、動画配信サイト                                   |
| 8  | ネット詐欺      | 架空請求、ワンクリック詐欺、フィッシング詐欺                                                          |
| 9  | 情報の信ぴょう性   | クチコミ、うわさ、デマ、流言、拡散、Twitter、Wikipedia、情報源、風評被害                                    |

## 第12回の課題：情報倫理を啓発するプレゼンの作成

### 課題の内容

選択したテーマに関するプレゼンテーションを、今回と次回で制作します。

### (1) テーマの決定（今回）

#### テーマの選択

プレゼンテーション制作を希望する、「情報倫理」のテーマを1つ決めてください。決まったら、次のようにして希望するテーマに投票してください。

1. 『テーマの選択』をクリック
2. 希望するテーマのチェックボックスをクリックし、「投票する」ボタンをクリック
3. 投票結果が表示される

もし間違えて希望と違うテーマを選択した場合は、再投票すれば、希望するテーマを選択できます。

各テーマを選択できる人数には上限があります。このクラスの上限数は、「7人」です。  
上限を超える場合は、授業担当者が抽選で選びますが、できれば自主的にテーマを変更してください。

#### 決定したテーマの報告

テーマが決まったら、eラーニングで報告してください。

1. 『第12回の課題』をクリック
2. 「提出課題を編集」ボタンをクリック
3. 「選択したテーマ名」と「選択した理由」を必ず入力して、「変更内容を保存」ボタンをクリックすれば、報告完了！

### (2) プレゼンの作成（今回と次回）

今回と次回で、「**情報倫理の選択したテーマに関するプレゼン**」を作成します。

プレゼンの目的は、テーマに関する危険性や注意点などを「ひとつのストーリー」として説明することで、情報倫理を訴えるということです。

作品には、次のようなルールを決めておきます。

1. 視聴対象は、高校生から大学生（10歳後半～20歳前半ぐらい）
2. スライドの枚数は、6枚以上（多くても8枚まで）
3. スライドの構成は、場面ごとに考える
  - 第1場面：表紙（タイトル、学籍番号、氏名：スライド1枚）
  - 第2場面：起承転結の「起」
  - 第3場面：起承転結の「承」
  - 第4場面：起承転結の「転」
  - 第5場面：起承転結の「結」
  - 第6場面：まとめ（スライド1枚）
4. プレゼン全体を、「**30～60秒程度**」で再生する
  - スライドショーを自動的に実行する「リハーサル機能」（第9回で説明済み）を設定すること
  - 見た人が内容を理解できるように、スライドの切り替えやアニメーションの時間配分に注意
5. 第6場面は、それまでの内容の解説や注意点を文章でまとめる

## ファイルの保存

---

編集ができたら、次のようにして、ファイルに保存してください。

1. メニューから「ファイル」→「名前を付けて保存」をクリック
2. 保存する場所に「マイドキュメント」を設定
3. ファイル名に「情報倫理」+「学籍番号」+「.pptx」を設定(半角文字で)
  - 例:学籍番号がC2121000の場合、ファイル名は「情報倫理c2121000.pptx」

### 課題の提出

---

この課題は、**次回(第13回)の授業**で提出してもらいます。注意してください。